

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス・児童発達支援 ウィズ			
○保護者評価実施期間	2025年 1月 27日		～	2025年 3月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数)	33
○従業者評価実施期間	2025年 1月 27日		～	2025年 3月 12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 11日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	コグトレを活用した「認知機能強化トレーニング」を行っている。	コグトレの段階を細かく分け、お子様の学習状況に合わせたレベルで提供している。こちらの主観だけでなく、本人にも難易度を確認し、無理なく進めていけるようにしている。	スタッフで話し合うだけでなく、保護者様にも、どういった事で困りかを定期的に確認をし、よりお子様にあったトレーニングを実施していきたい。
2	生活空間が清潔で心地よく過ごせる環境になっており、子どもたちが活動する場所が十分に確保されている。	学習に使用する部屋として環境の異なる個室を数か所用意しており、子どもや状況に応じて使い分けをしている。また、楽しく安心して通っていただけるように、定期的に備品を増やし遊びを充実させ飽きがこないようにしている。	こどもたちが関わる部屋や場所だけでなく、事務所などこどもたちの目が届きにくい場所の清掃もより徹底していき、心地よく過ごせる環境を作っていく。
3	通所を楽しみにしてくれている。	1回来所するごとにスタンプを押しており、5個貯まればご褒美があるといったトークン制度を採用している。	学習後の自由活動時に使う備品を定期的に拡充していく。また、土曜祝日のプログラム活動を楽しみに来てくれるようなものを準備していきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童クラブや地域の児童などの交流や、障がいのない子どもと活動をする機会が少ない。	学習支援という特色もあり、外に出る機会が少ない。4月から土曜日・祝日にプログラム活動を開始しているが、地域の方々と交流できるものは少ない。	室内での活動もしていきながら、今後公共の施設を利用するなど、地域の方々と交流できる機会を増やしていきたい。
2	家族支援・保護者同士の連携の機会が少ない。	利用者様に向けた保護者会を行う事もあるが、頻度は多くない。お話をする際も個人でする事が多いので、保護者様間の連携をする機会が少ない。	送迎時のコミュニケーションを強化し、お話・相談をしやすい環境を作していきたい。必要に応じて面談を実施することも検討し、こちらからも悩み事にアプローチできる環境を整えていきたい。
3	日々の活動の工夫が伝わりにくい。	平日は宿題とコグトレを行い、その後自由活動という決まった活動を行っているため、工夫が伝わりにくいと感じる。	カードゲームタイプのコグトレが増えた事や自由活動時の備品増えた事など、保護者様がご見学時にはなかったものがあるので、ブログなどで周知できるようにしていきたい。